大阪公立大学医学部附属病院 地域連携広報誌

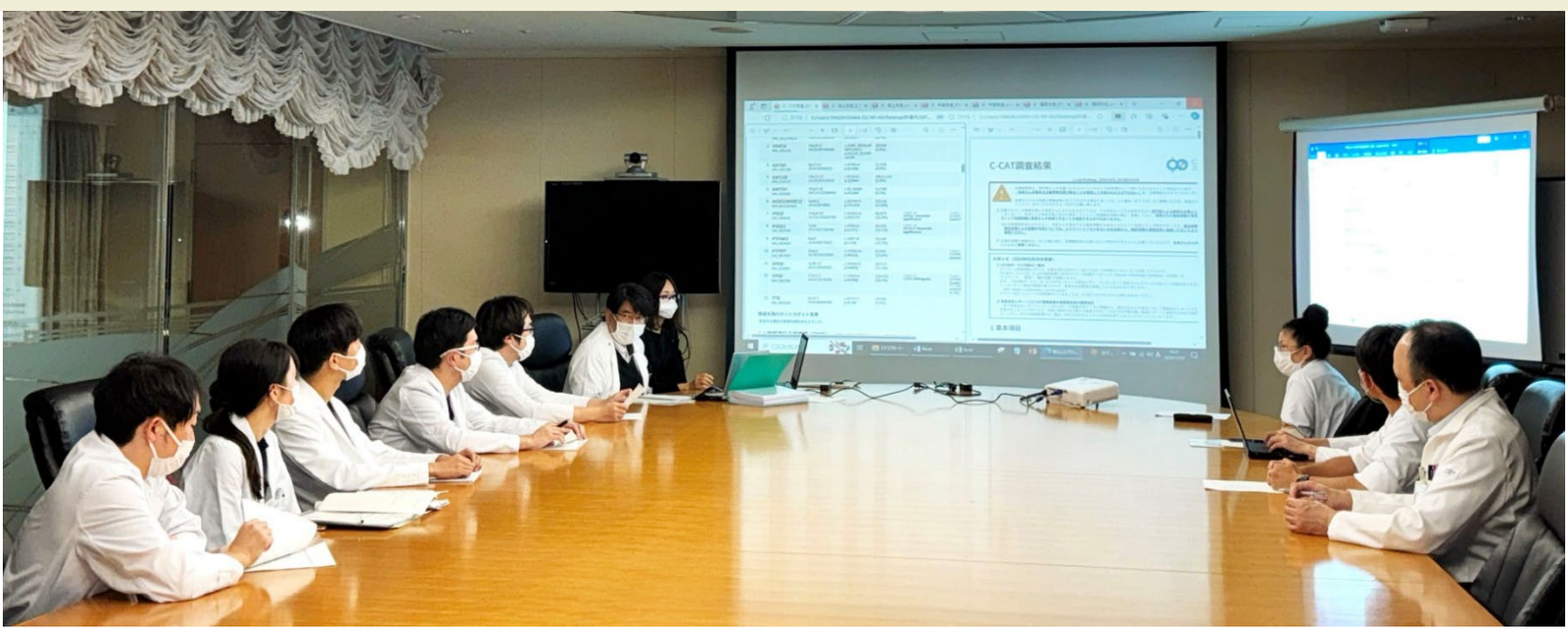
令和7年1月 Vol.53

患者総合支援センターたより

【発行】患者支援課 TEL:06-6645-2857

特 集

大阪公立大学病院
がんエキスパートパネル実施可能連携病院として新スタート



がんは遺伝子の病気です。がんの原因となる遺伝子の種類は様々です。患者さん個人の癌部位の遺伝子異常タイプを明らかにすることで、より精密に治療薬が選択できる可能性があります。最近、多くのがん関連遺伝子を一度に調べられる「がん遺伝子パネル検査」が保険診療となり、その遺伝子解析結果と**エキスパートパネル（専門家会議）**をもとにした精密治療「がんゲノム医療」が全国的に行われるようになりました。

エキスパートパネル（専門家会議）実施可能がんゲノム医療連携病院の指定

当院は、2018年に厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」に指定され、がんゲノム医療中核拠点病院の大阪大学医学部附属病院と連携し、がんゲノム医療を提供してきました。本年の厚生労働省指針改正を受け、2024年11月正式に当院が「**エキスパートパネル実施可能がんゲノム医療連携病院**」に指定されました。がんの遺伝子解析結果をもとに治療法を決めるのが**エキスパートパネル（専門家会議）**です。この新たな指定により、当院内でがんゲノム医療の専門家会議が開催できるようになり、多職種の医療専門家によるがん遺伝子パネル解析結果にもとづく精密な治療法決定が迅速に行える体制となりました。

患者さんへ検査の結果返却が従来より約3週間早くなり、治療開始がスピーディーに

これまで、がん遺伝子パネル検査後の結果開示は、がんゲノム医療中核拠点病院での評価を待つ必要があり、約8～9週間を要していました。しかし、当院内でエキスパートパネルが実施可能となったことで、結果開示が約3週間ほど短縮され、患者さんへの最適薬の提示がより迅速に行えるようになります。

当院はがん遺伝子パネル検査の紹介を受け付けています

がん遺伝子パネル検査は、がん患者さんにより精密な医療を提供することを目的としています。**地域連携医療機関で「がん遺伝子パネル検査」の受検を検討されている患者さんがいらっしゃいましたら、当院へご紹介ください。**

がん遺伝子パネル検査紹介方法はこちら ☛ https://www.hosp.omu.ac.jp/departments/gene/top.html

ゲノム医療センター　TEL 06-6645-2806

がん遺伝子パネル検査可能な患者さんの条件

以下の条件をすべて満たす患者さんは保険診療としてがん遺伝子パネル検査可能です。

- 悪性腫瘍（がん）と診断された方
- 標準治療が終了あるいは終了見込みである固形がんの方
- 全身状態が比較的良好な方（実際に検査の対象となる状態かどうかは担当医が判断します）

受検前に知っておいていただきたいこと

- がん遺伝子パネル検査により効果の期待できる薬剤の投与ができた患者さんは約1割です。
- 検査結果に適した薬剤が国内未承認の場合、薬剤使用までに時間を要したり自費治療になることがあります。
- 検査により、生まれつき腫瘍にかかりやすい体質と推測されることがあります（遺伝性腫瘍の可能性がわかることがあります）。詳しい説明を希望される方は遺伝カウンセリングを受けることができます。

当院で受検可能な がん遺伝子パネル検査（4種類）

製品名	提出検体	解析遺伝子数
GenMineTOP	組織・血液	737
FoundationOne CDx	組織	324
FoundationOne Liquid CDx	血液	324
Guardant360 CDx	血液	74

当院でのがん遺伝子パネル検査の流れ

紹介 検査予約 → 腫瘍検体の確認 → 検査説明と実施 → エキスパートパネル → 結果開示

当院は遺伝性腫瘍研修施設です

当院は、2024年8月に遺伝性腫瘍専門医取得への「**遺伝性腫瘍研修施設**」として認定されました。

がんゲノム医療を受ける患者さんの中には、元々がんになりやすい体質を持っている方もいらっしゃいます。患者さんとそのご家族に適切な医療を提供するために、専門的な知識と技術を持つ医師の育成が必要不可欠です。
当院では、遺伝性腫瘍に関する最新の知見をもとに、より高いレベルの医療提供を目指します。

詳細はゲノム医療センターにご連絡ください。TEL　06-6645-2806

がん遺伝子パネル検査目的での当院紹介を検討いただいている医療機関の皆さまへ

➡診察予約申し込みについては、**地域医療連絡室**まで

TEL　06-6645-2877 / FAX　06-6646-6215

平日9時00分～19時00分（休診日を除く）

※診察予約申込書（診療情報提供書）にがん遺伝子パネル検査目的である旨を明記ください。

※検査の適応について、患者さんが上記検査対象の条件を満たしているかご確認ください。

ゲノム診療科

ゲノム医療センター

第53回 医療連携Face to Faceの会 を開催しました

令和6年11月30日（土）、あべのハルカス会議室にてFace to Faceの会を開催いたしました。特別講演として大阪公立大学医学部・大学院医学研究科 研究科長兼学部長の鶴田 大輔より「これからの医学部の発展に向けて」をテーマに講演を行いました。

一般演題では整形外科診療科部長の寺井 秀富より、「老化と脊椎、今われわれができること」、また整形外科の新谷康介より「赤ちゃんとこどもの四肢の異常～診察時に役立つ実践的なコツ～」と題し、当院での取り組みや地域医療機関の先生方にお役立ていただける診察時のポイントをご紹介しました。

▲鶴田 大輔　研究科長兼医学部長

▲寺井 秀富 診療科部長

▲新谷 康介 医師

Face to Faceの会たより

右記のQRコードから、講演の抄録をご覧いただけます。

地域の先生方と当院医師との情報交換会も行いました。講演の合間の休憩時間を利用したコーヒーブレイク形式で開催し、活発な情報交換となりました。

今後も皆さまのご意見をいただきながら、より良い運営を目指して参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

次回は令和７年３月１５日（土）に開催予定です。

詳細は決まり次第、参加申込書を同封の上、当センターたよりにてお知らせいたします。

旧年中は格別のご厚情を賜わり心より御礼申し上げます
皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます

本年も何卒よろしくお願い申し上げます

大阪公立大学医学部附属病院　患者総合支援センター長

PICK UP
診療科紹介

皮膚科

大阪公立大学皮膚科では、１）現代医学的に見て最善と思われる医療を提供する、２）わかりやすい納得できる説明を行う、３）他の医療機関から見て安心して紹介できる診療を行うを３つのモットーとして日々診療に励んでおります。

- 急性疾患（帯状疱疹、蜂窩織炎などの感染症や薬疹、全身湿疹、じんましん）の入院加療
- 皮膚がん（悪性黒色腫、有棘細胞がん、基底細胞がん）の診断と治療（手術、放射線、分子標的・免疫療法を含む化学療法）
- アレルギー性皮膚疾患（薬疹、食物アレルギー）の原因同定と治療
- 水疱症などの難病皮膚疾患の診断と治療
- 乾癬、アトピー性皮膚炎の診断と治療（各種生物学的製剤を含む）
- 毛髪疾患（脱毛症など）の診断と治療
- その他、診断や治療に難渋する皮膚疾患や入院を要する皮膚疾患

帯状疱疹

蜂窩織炎

全身湿疹

水疱症

皮膚がん

患者様に最適な治療を提供できるように尽力いたします。
お困りの症例等ございましたらぜひご紹介ください。

次回予告

★ 診療科紹介（予定） ★　当院の診療科をご紹介します。

耳鼻いんこう科　　**循環器内科**

Face to Faceの会 ご案内

次回は **令和7年3月15日（土）** に開催します。

詳細については決定次第センターたよりにてご案内いたします。

地　域　医　療　連　絡　室

月曜日～金曜日 9:00 ~19:00

電話：06-6645-2877

FAX：06-6646-6215

URL：https://www.hosp.omu.ac.jp/health_professionals/area/area.html

ご予約方法

『診察予約申込書（診療情報提供書）』をご作成のうえ、
FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。
詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、
診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や
別添していただく診療情報提供書はできる限り
詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。
また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。

〒545-8586
大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7
大阪公立大学医学部附属病院
TEL：06-6645-2121（代表）
TEL：06-6645-2857（患者支援課）
初診受付時間 ： 8：45 ～ 10：30
休診日：土曜日・日曜日・祝日・12/29～1/3

送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。